

第 73 回 鹿児島県高等学校新体操・体操競技大会 (全国・九州大会予選) 要項

- 1 主 催 鹿児島県高等学校体育連盟 鹿児島県教育委員会
- 2 後 援 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会
- 3 主 管 鹿児島県高等学校体育連盟体操専門部
- 4 期 日 令和4年5月20日(金)～22日(日)
- 5 会 場 鹿児島県総合体育センター体育館
- 6 競技種目 新体操 団体競技, 個人競技
 体操競技 男子…ゆか, あん馬, つり輪, 跳馬, 平行棒, 鉄棒
 女子…跳馬, 段違い平行棒, 平均台, ゆか
- 7 競技規定 体操競技・新体操ともに(公財)日本体操協会競技規則(全国高校適用)および最新版の日本体操協会採点規則(全国高校適用)による
- 8 競技方法
 (体操競技)

- 1 日目: チーム選手権および個人選手権・種目別選手権の予選を自由演技で行う。
 (団体: 3 チーム, 個人: 団体出場者を除く 12 名, 種目別: 各種目 8 位以内が決勝へ)
- 2 日目: チーム選手権および個人選手権・種目別選手権の決勝を自由演技で行う。

選手権別	方 法
チーム選手権	チーム得点は各種目の上位3名の得点を合計したものとす。 予選の結果により決勝の班編制を行う。 決勝の順位は, 予選演技と決勝演技のチーム得点の合計により決定する。
個人選手権	チーム選手権出場者も個人選手権を兼ねる。 各種目の個人得点の合計により順位を決定する。 予選の結果により決勝の班編制を行う。 決勝の順位は, 予選演技と決勝演技の個人得点の合計により決定する。
種目別選手権	決勝の各種目別の得点により順位を決定する。

※女子は4-4-3方式で競技。女子跳馬の演技数は, 予選も決勝も2本。

※女子「ゆか」の伴奏曲はCDもしくはUSBメモリによるものとする。

※九州大会・全国大会出場者の選考で同点の場合には, 日本体操協会競技規則最新版のタイブレイクルールを準用し, 競技専門委員, 男女審判長, 男女競技部長による裁定審判委員会を開き, 出場者を決定する。

(新体操)

性別	選手権別	方 法
男 子	団体競技選手権	自由演技の得点により順位を決定する。 (2分45秒～3分)
	個人競技選手権	「クラブ」, 「スティック」の二種目を行い, 二種目の合計点により順位を決定する。個人については伴奏曲を使用する。 (1分～1分30秒)
女 子	団体競技選手権	自由演技のみとし, 手具は「フープ5」とする。 得点により順位を決定する。 (2分15秒～2分30秒)
	個人競技選手権	「フープ」と「ボール」の二種目を行い, 二種目の合計点により順位を決定する。 (1分15秒～1分30秒)

- 9 引率・監督 (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(地方公務員法第22の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届けること。
- 【参考】引率が認められる職員とは、校長・教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・講師(常勤)・部活動指導員・実習助手である。ただし、実習助手については、以下の条件を全て満たし、校長が承認した者である。
- 1 正規職員であること
 - 2 当該部活動の指導を常時行っていること
 - 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し、かつ6年以上の勤務経験があること
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- (3) 監督は、(公財)日本体操協会に令和4年度の指導者登録を完了した者とする。
- 10 参加資格 (1) 本年度鹿児島県高等学校体育連盟加盟校の在籍生であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 年齢は平成15(2003)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) 選手の所属校が(公財)日本体操協会に令和4年度の団体登録を完了しており、かつ選手が令和4年度の選手登録を完了している場合に、大会出場を認める。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める(「合同チーム参加届け」を提出)
- (6) 離島における特別支援学校高等部支援教室(以下「支援教室」という。)とその設置高等学校(以下「設置校」という。)は、特例として下記により合同チームでの大会参加を認める。(合同チーム参加届けを提出)
- ア 加盟校ではない特別支援学校の支援教室の場合は、大会開催基準要項における参加資格の特例、大会参加資格の別途に定める規定並びに本連盟細則第13条に従い大会参加を認める。
- イ 上位大会へ出場権を得ることはできない。
- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。(「大会出場申請書」を提出)
- (8) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (9) その他の事項については、全国大会要項に準じる。
- (10) 参加資格の特例による学校の参加については、鹿児島県高等学校総合体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」とおりとする。
- (11) 外国人留学生の参加については、団体は体操競技・新体操共に1名とし、個人は体操競技2名、新体操1名とする。

11 参加制限 (体操競技)

- (1) チーム参加は男女とも1校から1チームとする。(補欠者は個人申し込みをしていれば個人参加ができる)
- (2) チームの編成は最大限4名、最少限3名とする。
- (3) 1校からチーム出場の外に4名まで個人参加が認められる。
- (4) 選手の変更は補欠申し込みをした者に限る。(選手変更の届出は監督会議で申し出ること。以後の変更は認められない。)

(新体操)

- (1) 団体競技の参加は、男女とも1校から1チームとする。ただし男女ともに、オープン参加として2チーム目の参加を認める。
- (2) チームの編成は、男女とも選手6名、補欠2名とする。
- (3) 個人競技選手権は、1校から4名まで出場できる。(個人競技選手権に出場した選手は団体競技のチームに加わることができる)

12 参加申込

参加申込に際しては、「個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。(1) 申込〆切 令和4年5月6日(金)16時30分までに必着。
 (2) 申込方法 当該学校長の責任において、所定の申込書により2部作成(1部は写しでも可)し、封筒に競技名を朱書きして申し込む。※プログラム作成のため、上記申込とは別に大会参加申し込み書の電子データを添付して下記メールアドレスに送付すること。

akune-takeru@edu.pref.kagoshima.jp 阿久根 健 (川内高等学校)

- (3) 申込先 〒891-0141 鹿児島市谷山中央八丁目4番1号
 県立鹿児島南高等学校内 県高体連事務局宛 (TEL099-268-8391)
- (4) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合は、速やかに専門委員長に連絡をする。

13 競技日程

		時		8:30		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00	
日																									
新体操	5月20日(金)	C3C4 審判会議		C3C4 監督会議		開会式		新体操個人				屋食練習		新体操個人				新体操団体練習		体操競技練習					
		新体操練習																体操競技会場設営							
新体操 体操競技	5月21日(土)	新体操練習		新体操団体表彰式		C1C2 審判会議		C1C2 監督会議		体操競技予選1班練習		体操競技予選1班競技		体操競技予選2班練習		体操競技予選2班競技		体操競技練習		予選通過者会議					
体操競技	5月22日(日)	C3C4 審判会議		体操競技練習				体操競技決勝競技		屋食		会場整理		閉会式		新体操、体操競技九州大会・全国大会出場校代表者会(体育館ステージ)									

C1 体操競技男子 C2 体操競技女子 C3 新体操男子 C4 新体操女子

連絡

- ・C1~C4の審判会議は8時30分から(2日目C1・C2は9時45分から)体育館ステージおよび研修室で行う予定です。
- ・C3・C4の監督会議は9時00分、C1・C2は10時30分から体育館ステージで行う予定です。(時間厳守)
- ・九州大会・全国大会出場校代表者会(新体操・体操競技)体育館ステージ5月22日(日)

- ・競技日程は、申込状況により若干変更することがある。その場合は、仮プログラム発送にて連絡する。
- ・組み合わせ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。

14 表彰

種別 \ 表彰	チーム選手権	個人及び種目別選手権
体操競技 新体操	<ul style="list-style-type: none"> ・男女とも1位に優勝旗及び賞状を授与する。 ・男女とも2～3位に賞状を授与する。 	男女とも各1～3位に賞状を授与する。

15 九州大会・全国大会出場資格

(1) 九州大会

	チーム出場	個人出場
体操競技 (男・女)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女とも優勝チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則的に男女とも優勝校を除き上位から5名とする。但し、同一校からの出場は3名までとする。(詳細は、九州大会要項内の「参加制限」参照)
新体操 (男・女)	<ul style="list-style-type: none"> ・男子は優勝チーム ・女子は上位2チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女とも上位2名

(2) 全国大会

	チーム出場	個人出場
体操競技 (男・女)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女とも優勝チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女とも優勝チームの全国大会出場者と全国大会補欠を除き上位2名とする。
新体操 (男・女)	<ul style="list-style-type: none"> ・男子は優勝チーム(九州大会予選通過チーム) ・女子は上位1チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女とも上位1名

16 競技服装について

全国高体連服装規定に準ずる。

(1) 体操競技(男女)

ア 競技者は、背に規定のゼッケン(タテ15cm以上 ヨコ20cm以上)をつけなければならない。

イ チームにおいては、同一のユニフォームを着用し、胸章も統一したものをつけなければならない。

※上記に違反した場合は、採点規則に基づき決定点より減点される。

(2) 新体操(男女)

チームにおいては、同一のユニフォームを着用し、胸章も統一したものをつけなければならない。

※上記及び手具の規格に違反した場合は、競技規則に基づき減点をする。